

令和5年度 学力調査結果に基づく授業創造プラン作成について

児童のさらなる学力の向上を図るために、今年度実施した2～6年生の学力テストの結果等进行分析し、課題をもとに授業改善を図る授業創造プランを作成しました。

令和5年度 全国学力・学習調査の結果

教科	本校	東京都	全国
国語	71	69	67.2
算数	64	67	62.5

本校の平均正答率は、全国と同等ではあるが、東京都の数値を下回っている。

令和4年度 総合学力調査（日野市）の結果

教科	本校	日野市
国語	76.2	70.6
算数	64.1	62.3

本校の平均正答率は、市平均の数値を上回っている。

上記は、本校6年生の全国学力・学習調査の結果と、5年生の総合学力調査の結果です。

本校の児童は、文学的文章も説明的文章も、興味・関心をもって学習に取り組んでおり、場面把握、内容把握については概ねできています。また本校の研究テーマでもある「対話」を意識した学習の積み重ねから、話すこと・聞くことの理解も高まっています。

一方言語事項に関する知識や、自分の考えをまとめて文章を構成し、表現する力に課題が見受けられます。また、算数においても、グラフなどのデータから読み取ったことを記述する問題には無回答が多くなっており、国語同様、表現する力は課題といえます。漢字などの言語事項をはじめ、各教科の知識分野の覚えるべき内容については、様々な場面で学んだ知識を活用する機会を設定し、ICT機器を活用する等、学習方法を工夫していきます。また観察・体験など得た結果に対するまとめを行う際に、結果を具体的な数値として共有し、何を結論の根拠としているのかを把握できるようにします。より深く自分の考えを書くことができるよう、授業後に「この時間は何を学んだのか」を振り返って書く時間を設定し、文章表現への抵抗感をなくしていきます。またその時間での学びが何だったのかを把握できるよう、教師が授業改善を行っていくことに努めます。